

七尾市 調査総括表(1/9)

査番号	5	県名	石川県	市町名	七尾市			
1. 被害の状況等								
(1) 被災前の人団(R5.12月末)		被災状況図						
総人口	48,264人	▼建物被災状況						
年齢階級別人口								
項目	0-14歳	15-64歳	65歳以上					
人口(人)	4,342	24,878	19,044					
比率	9.0%	51.5%	39.5%					
(2) 人的被害の状況(R7.3.18)								
死者	47人 (うち災害関連死者 42人)							
行方不明者	0人							
(3) 都市計画等の状況								
都市計画区域	一部都計区域							
市街化区域	区域区分 有							
用途地域	用途地域指定 有							
(4) 建物等被災の状況(R7.2.5) ※割合は行政区域等の各区域に示す割合(R7.2.5時点)								
区域	総軒数 (棟)	全壊区域		半壊以上区域		一部損壊区域		流出軒数 (棟)
		軒数(棟)	割合(%)	軒数(棟)	割合(%)	軒数(棟)	割合(%)	
行政区域	55,147	1,569	2.8%	7,825	14.2%	9,965	18.1%	0
都市計画区域	-	707	-	4,294	-	6,844	-	0
用途地域	-	292	-	1,976	-	3,796	-	0
(5)津波浸水被害の状況			(6)液状化被害の状況		(7)火災被害の状況			
区域	総面積(ha)		軒数(軒)	総面積(ha)				
	面積(ha)	割合(%)		面積(ha)	割合(%)			
行政区域	4.61	0.014%	0	0	0			
都市計画区域	0	0	0	0	0			
用途地域	0	0	0	0	0			

七尾市 調査総括表(2/9)

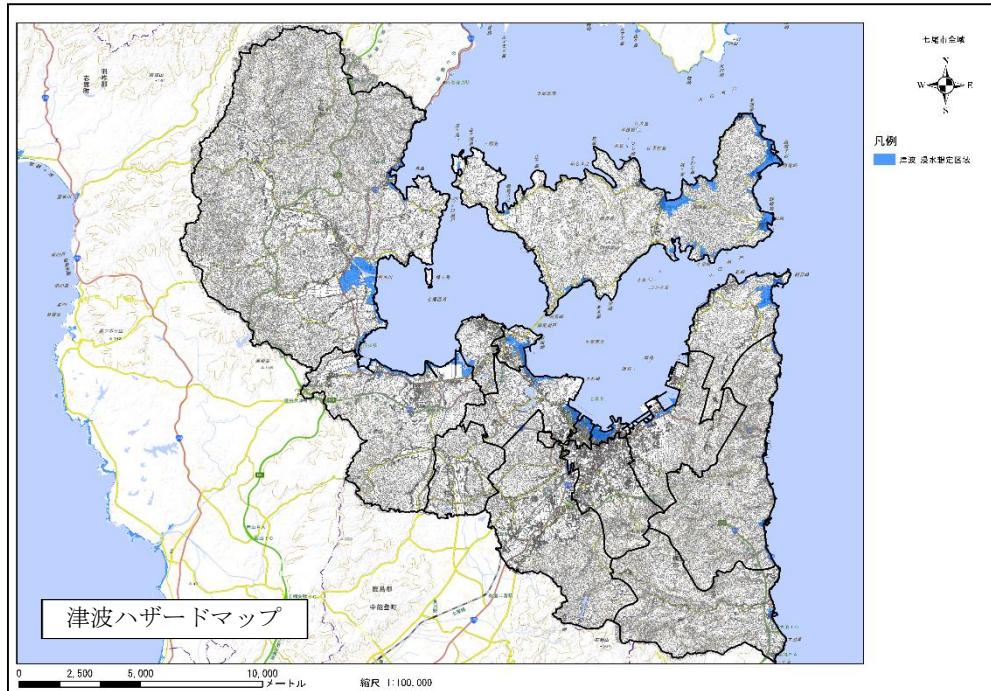
(8)インフラの状況							
区分			被害状況	復旧状況	備考		
道 路	国道	通行止め	140 箇所	全通	※一般県道 百海七尾線一部 (災害復旧工事中)		
		片側交互通行		全通			
	県道	通行止め		一部区間※			
		片側交互通行		—			
	市道	通行止め		18 箇所			
		片側交互通行		1 箇所			
電気			不明	全通			
水 道	上水道		全域断水	全通	※復旧日 : R6. 4. 1 【被害箇所 : 848 箇所】		
	営農飲雜用水施設			—			
	小規模水道施設			—			
	その他水道施設			—			
下 水 道	公共下水道		1, 156 箇所	全箇所使用可			
	漁業集落排水						
	林業集落排水						
通 信	電話		不明	全箇所復旧済 ※市所管分			
	インターネット						
	ケーブルテレビ						
(9)仮設住宅の整備状況							
区分			世帯	整備状況	備考		
応急仮設住宅			562 戸	575 戸完成 (進捗率 100%)	※R7. 3. 14 時点		
みなし仮設住宅			592 件 (申込件数)	—	・ うち市内 369 件 ※R7. 3. 14 時点		
市営住宅及び定住促進住宅			78 世帯	94 戸			

七尾市 調査総括表(3/9)

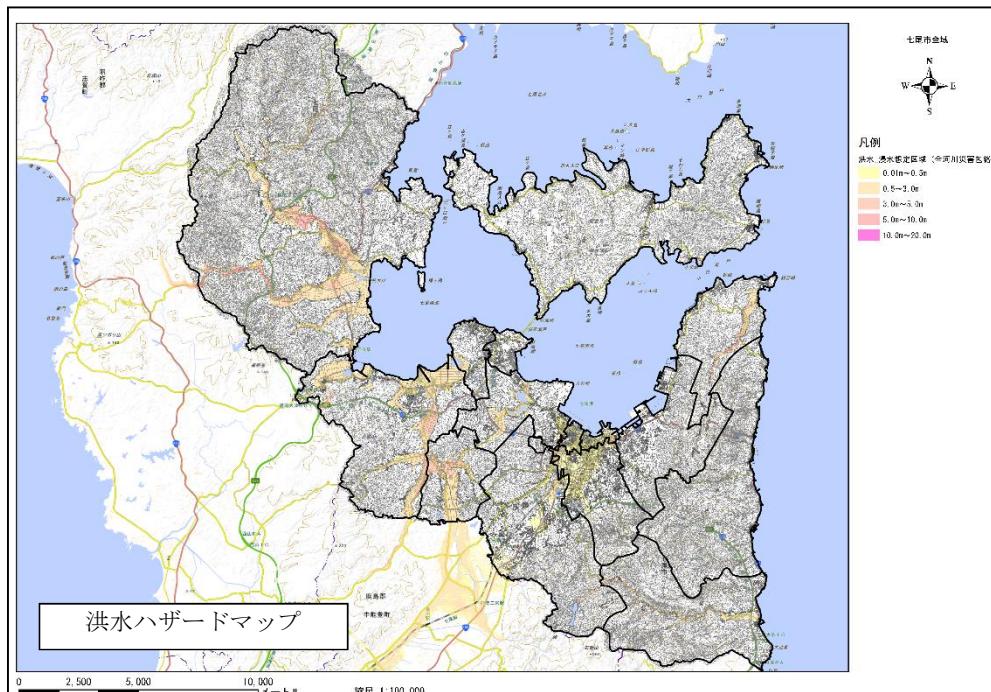
2. 各種ハザード・過去の被災状況

(1)各種ハザード状況

- 津波ハザードマップ

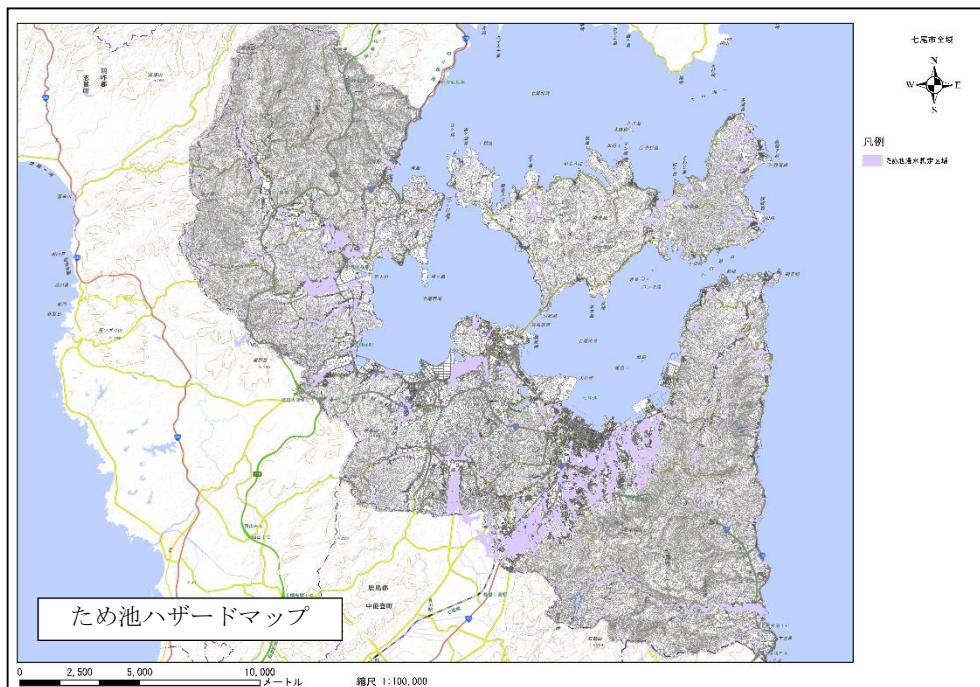


- 洪水ハザードマップ

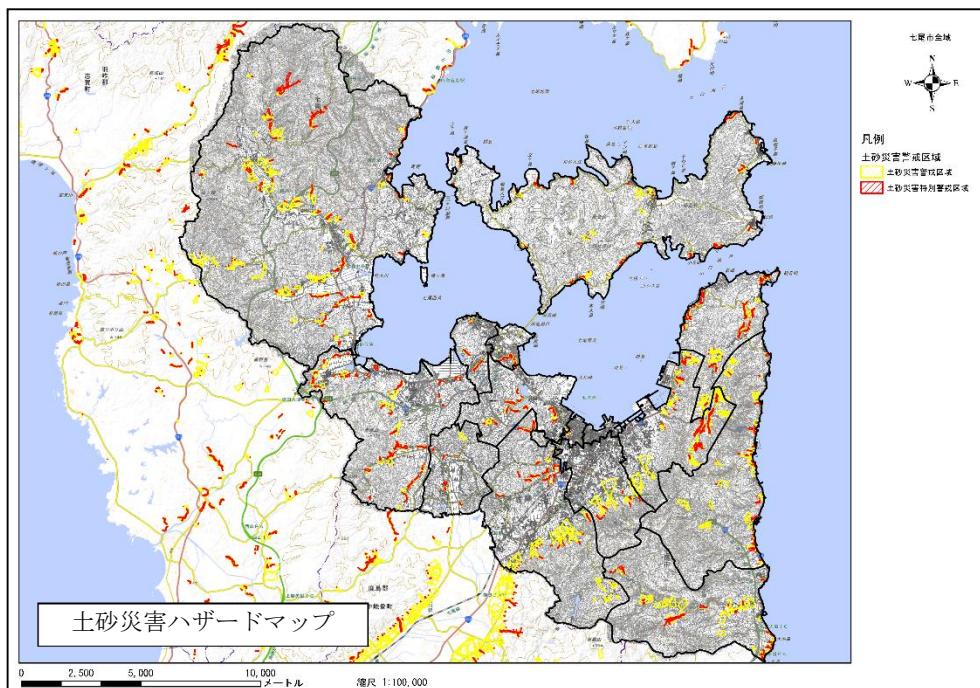


七尾市 調査総括表(4/9)

・ため池ハザードマップ

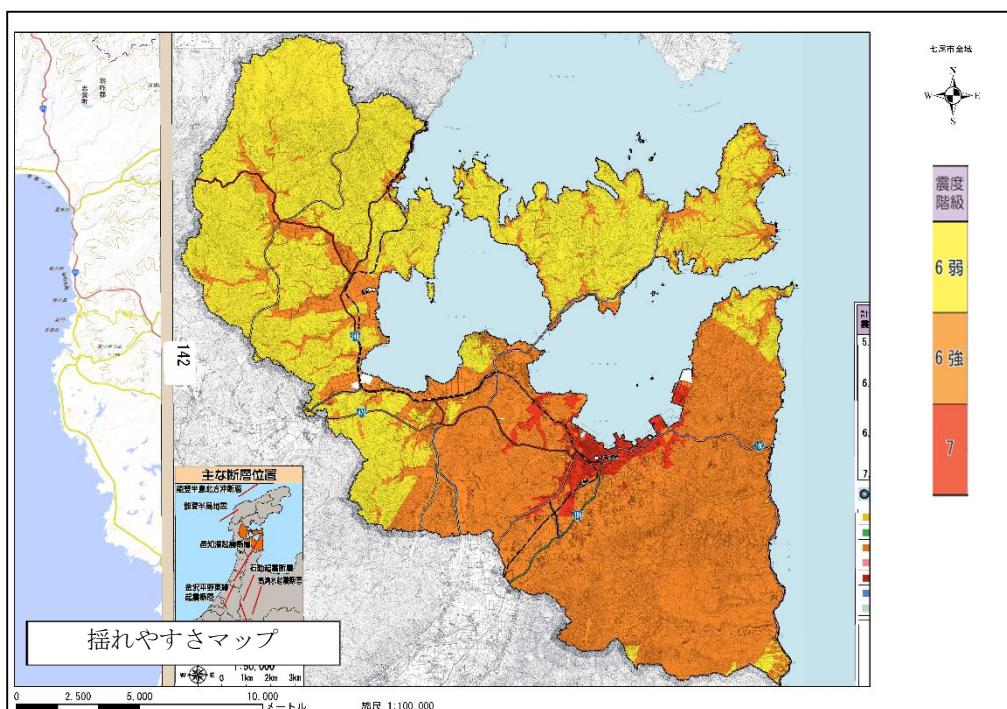


・土砂災害ハザードマップ

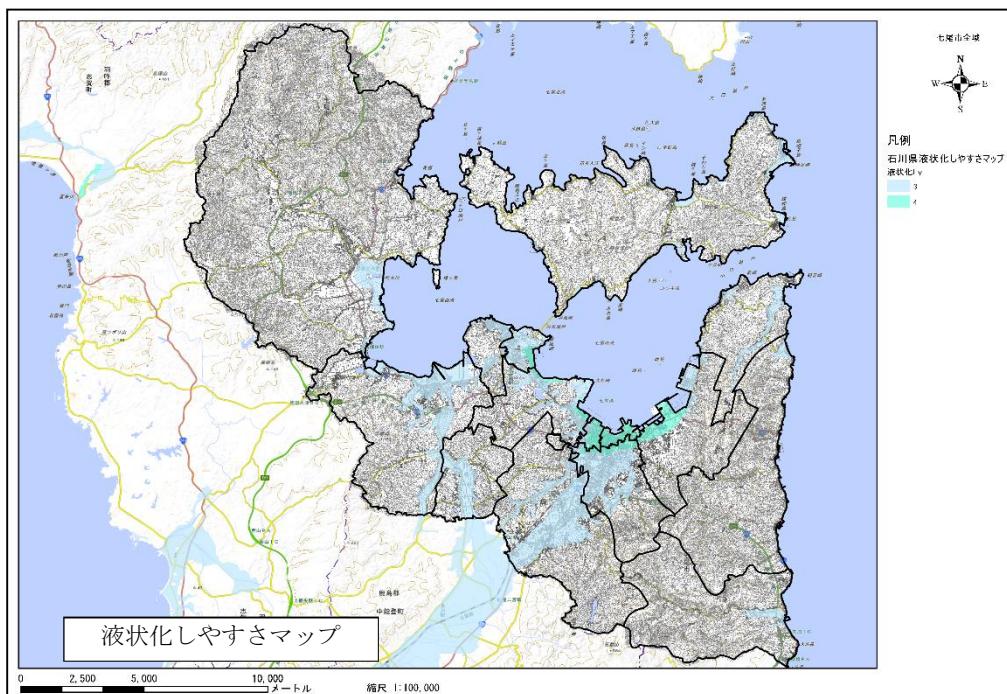


七尾市 調査総括表(5/9)

・揺れやすさマップ



・石川県内の液状化しやすさマップ



七尾市 調査総括表(6/9)

(2)過去の被災状況およびその後の対策

平成 19 年 3 月能登半島地震における七尾市の被災状況

- ・人的被害（人）：死者 0 人、重傷者 24 人、軽傷者 103 人（平成 21 年 3 月 3 日現在）
- ・住家被害（棟）：全壊 69 棟、半壊 1,086 棟、一部損壊 7,297 棟、非住家被害（棟）：350 棟（平成 21 年 3 月 3 日現在）
- ・農林水産施設の被害額：約 13 億円

- ・農道：中能登農道橋に路面亀裂や段差（約 10 cm）発生した。

⇒国、県、市が連携し、迅速な応急工事や本格復旧に努め、4 月 27 日には全面復旧し、通行止め解除。

- ・道路：主要地方道七尾能登島公園線の「能登島大橋」では、橋脚部に軽微な亀裂が発生し、通行止め。

⇒亀裂部の応急補修を行い、4 月 2 日未明に供用を再開。

- ・港湾：七尾港大田地区で液状化により岸壁とふ頭用地との間に最大 50 cm の段差が生じた。七尾港の主要産業である木材加工業が停止した。

⇒地震発生から 1 か月で応急工事を終え、原木の取り扱いを再開。

- ・七尾美術館：合併浄化槽の隆起などによる配管破損が発生。（被害金額 194 万円）
- ・上水道：断水戸数 1,500 戸（3 月 25 日 20:30 現在）
- ・下水道（公共下水道）：4 箇所（被害金額約 5,900 万円）、下水道（農業集落排水）：3 箇所（被害金額約 3,800 万円）

（資料：「平成 19 年能登半島地震災害記録誌」を参考に作成）

七尾市 調査総括表(7/9)

3. 被災前の上位関連計画策定状況

- ・ 七尾市都市マスタープラン（H23. 3月）
- ・ 七尾市空き家等対策計画（R2. 3月）
- ・ 第2次七尾南湾流域生活排水対策推進計画書（H31. 3月）
- ・ 七尾市災害廃棄物処理計画（R4. 4月）
- ・ 七尾市国土強靭化地域計画（R2. 3月）
- ・ 七尾市公共施設等総合管理計画（R4. 3月）
- ・ 七尾市産業振興促進計画（R2. 3月）
- ・ 七尾市地域公共交通計画（R5. 3月）
- ・ 第2次七尾市総合計画（R1. 5月）
- ・ 地域再生計画（R5. 3月）
- ・ 七尾市人口ビジョン（H27. 10月）
- ・ 第2期七尾市まち・ひと・しごと創生総合戦略（R3. 9月）
- ・ 七尾市地域防災計画（R4. 10月）
- ・ 七尾市水防計画（R2）
- ・ 七尾市国民保護計画（R2. 12月）
- ・ 七尾市津波避難計画（R3. 8月）
- ・ 七尾市業務継続計画【大規模災害編】（BCP）（H31. 2月）
- ・ 七尾市避難情報判断・伝達マニュアル（R3. 8月）
- ・ 七尾市避難所運営マニュアル（R2. 3月）
- ・ 七尾市景観計画（H27. 10月）

4. 被災前の開発・事業計画状況

—

5. 復興計画の策定状況

(1) 復興事前準備の状況

- ・ 事前復興計画 無
- ・ 地域防災計画 有

(2) 復興計画等の策定状況

	名称	策定年月日	委員会	パブリックコメント
復興計画	七尾市戦略的復興プラン	2025年2月28日	有	有
その他の方針・計画	無			

(3) 復興計画の策定方法等での特質(住民参加・大学との連携等・方向性の変更等)

- ・ 七尾市戦略的復興プラン等推進委員会（3回開催）
- ・ 民間提案の復興プランとして御祓地区災害復興プラン策定会議が御祓地区災害復興プランを策定（R7. 3月）。同様に、民間提案の復興プランとして和倉温泉創造的復興まちづくり推進協議会が和倉温泉創造的復興プランを策定（R7. 3月）
- ・ 七尾市オープンミーティング（8回開催、うち1回子育て世代の女性対象）

七尾市 調査総括表(8/9)

6. 復興計画の概要(市町全体)

(1) 整備の基本的な考え方		(2) 整備にあたっての基本的な方針	(4) 復興構想図(市町全体対象)
国や県などと連携し、市民とともに各拠点の機能などについて考えていくとともに、「七尾市都市計画マスターplan」などにおける将来都市構造や土地利用の考え方を基本として、より安全な暮らしと賑わいや活力のあるなりわいの再建など、持続可能で災害に強いまちの実現を図りつつ、土地の利活用を進める。	住宅再建の方針	<ul style="list-style-type: none"> 被災した住宅の応急修理や復旧支援などの様々な支援制度に係る相談のワンストップ対応 仮設住宅の再利用や災害公営住宅の建設 	
<p>■方針</p> <ul style="list-style-type: none"> 中心市街地及び和倉エリアは、地域の中心拠点として地域経済の維持に必要な公共インフラ・施設などの強靭化を図り、重要な都市機能の強化を進める 各地区において震災前以上に安心して暮らせるよう、各地域づくり協議会を核としたコミュニティの再生や居住環境の再建に取り組む 産業の復興や中心市街地の利便性を高めるため、地域の中心拠点や生活拠点の広域的な連携を促進する 各集落において復旧を進め、現地再建を支援していくとともに、各地域で話し合いを通じて、災害リスクや孤立可能性の高いエリアなどから拠点への移転を支援（必要に応じて災害の危険なエリアの立地規制を検討）する 	コミュニティの復興方針	<ul style="list-style-type: none"> 地域コミュニティ拠点である集会所や地域コミュニティ施設の再建や改修に関する費用負担の軽減 	
浸水対策の方針	浸水対策の方針	<ul style="list-style-type: none"> 陸路の多重化によるリダンダンシーの確保 国や県と連携し、自立分散型のインフラ整備の推進 	
火災対策の方針	火災対策の方針	—	
市街地の整備方針	市街地の整備方針	<ul style="list-style-type: none"> 住宅の耐震化促進に向けた支援の充実 	
避難体系の方針	避難体系の方針	<ul style="list-style-type: none"> 能登地域の避難拠点施設の機能をもったスポーツセンターの整備促進 	
交通体系の整備方針	交通体系の整備方針	<ul style="list-style-type: none"> 災害に強い道路網の形成 震災後のニーズを踏まえた公共交通網の構築 	
産業・生産、観光・交流の復興方針	産業・生産、観光・交流の復興方針	<ul style="list-style-type: none"> 被災した農業用機械や施設の修理、再生整備支援 和倉温泉、能登島民宿など宿泊事業者の事業再開への支援 商店街仮設店舗の建設 	
景観・文化の復興方針	景観・文化の復興方針	<ul style="list-style-type: none"> 護岸の早期復旧によるまちなみの再生 被災した文化財の早期復旧 	
(3) 地区別の方針の概要			
中心市街地及び和倉エリアは、地域の中心拠点として地域経済の維持に必要な公共インフラ・施設などの強靭化を図り、重要な都市機能の強化を進める			
地区名	復興の基本的な考え方		
重点エリア (中心市街地・和倉)	重点エリアとして、地域の中核的機能を担う人口や都市機能が集積した七尾市全体の拠点		
地域交流エリア	防災機能を備えた住民主体のコミュニティの核となる拠点		

※地区別復興方針（詳細）は、令和7年度に予定している都市マスターplanと合わせて検討を予定。また、民間提案による「御祓地区災害復興プラン」・「和倉温泉創造的復興プラン」の実現可能性の検証を行い、市内の各地域づくり協議会との対話の中で地域のニーズに留意しながら、必要な復興方針について深化化を予定している。

七尾市 調査総括表(9/9)

《七尾市 調査総括表の各種データの出典等》

項目	出典等	備考
1. 被害の状況等		
(1) 被災前の人口	住民基本台帳	
(2) 人的被害の状況	石川県 HP	
(3) 都市計画等の状況	七尾市 HP	
(4) 建物等被害の状況	罹災証明、固定資産台帳	罹災証明等による被害の状況を行政区域、都市計画区域、用途地域毎に整理
(5) 津波浸水被害の状況	国土地理院「空中写真判読による津波浸水域（推定）」	
(6) 液状化被害の状況	—	
(7) 火災被害の状況	—	
(8) インフラの状況	TEC-FORCE 調査、七尾市資料	
(9) 仮設住宅の整備状況	七尾市 HP 及び提供資料	
2. 各種ハザード・過去の被災状況		
(1) 各種ハザード状況	七尾市 HP、国土交通省 HP、七尾市地域防災計画 資料編	津波浸水：石川県提供（平成 29 年）、洪水浸水：石川県 HP（令和 5 年）、ため池浸水：七尾市提供（平成 26 年）、土砂災害：国交省 HP（令和 4 年）、揺れやすさマップ：七尾市「七尾市地域防災計画 資料編」
(2) 過去の被災状況およびその後の対策	石川県「平成 19 年能登半島地震災害記録誌」	
3～5. (省略)		
6. 復興計画の概要（市町全体）		
(1)～(4)	七尾市戦略的復興プランのうち、復興まちづくりに関する内容を記載	
7. 地区別復興方針		
(1)～(5)	—	